

【資料 1】

町民の意識調査アンケート結果概要

1. 調査の概要

(1) 調査対象・調査方法

1) 調査対象

佐用町在住の18歳以上の町民

2) 調査方法

住民基本台帳より無作為に抽出した1,500人に対し、アンケート調査票を郵送配布し、郵送で回収を依頼

3) 調査期間

平成27年8月～9月

(2) 回収状況

配布数：1,500

回収数：581

回収率：38.7%

※調査結果の詳細は以降に掲載。

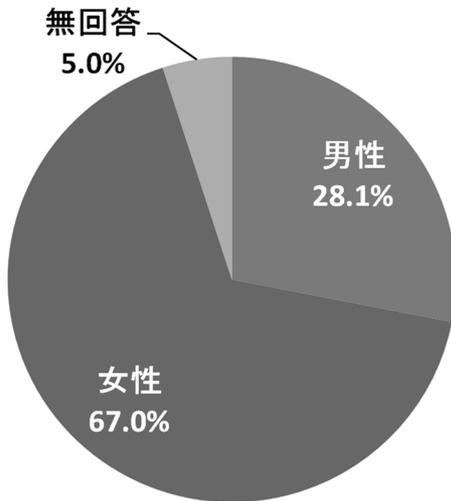
各項目の割合の合計は、端数処理の影響で実際には100%にならない場合があります。

回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(○印は一つ)

○回答者の男女別の割合は、「男性」28.1%、「女性」67.0%となった。



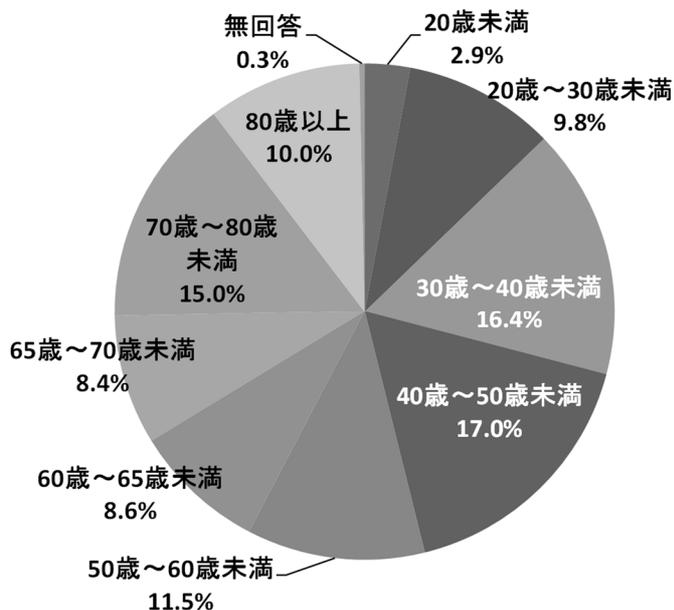
問1	選択肢	件数	割合
1	男性	163	28.1%
2	女性	389	67.0%
	無回答	29	5.0%
	回答者合計	581	100.0%

(2) 年代

問2 あなたの年齢を教えてください。(○印は一つ)

○20代以上の各世代で、約10~17%となっている。

○65歳以上の高齢世代が、全体の約1/3を占める。



問2	選択肢	件数	割合
1	20歳未満	17	2.9%
2	20歳～30歳未満	57	9.8%
3	30歳～40歳未満	95	16.4%
4	40歳～50歳未満	99	17.0%
5	50歳～60歳未満	67	11.5%
6	60歳～65歳未満	50	8.6%
7	65歳～70歳未満	49	8.4%
8	70歳～80歳未満	87	15.0%
9	80歳以上	58	10.0%
	無回答	2	0.3%
	回答者合計	581	100.0%

(3) 住居地区

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。(○印は一つ)

○「佐用地区」が最も多く、全体の約1/4を占める。

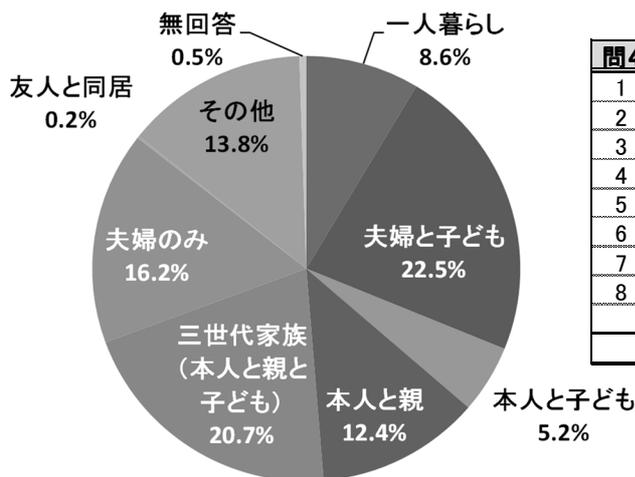
問3	選択肢	件数	割合
1	佐用地区	135	23.2%
2	長谷地区	26	4.5%
3	平福地区	21	3.6%
4	石井地区	21	3.6%
5	海内地区	6	1.0%
6	江川地区	33	5.7%
7	幕山地区	30	5.2%
8	上月地区	51	8.8%
9	久崎地区	41	7.1%
10	中安地区	39	6.7%
11	徳久地区	51	8.8%
12	三河地区	41	7.1%
13	三日月地区	81	13.9%
	無回答	5	0.9%
	回答者合計	581	100.0%

(4) 家族形態

問4 あなたの家族形態を教えてください。(○印は一つ)

○最も多いのが「夫婦と子ども」で22.5%、次いで「三世代家族(本人と親と子ども)」の20.7%となっている。

○「本人と親」の12.4%も含め、二世世代・三世代家族が全体の半数以上を占める。

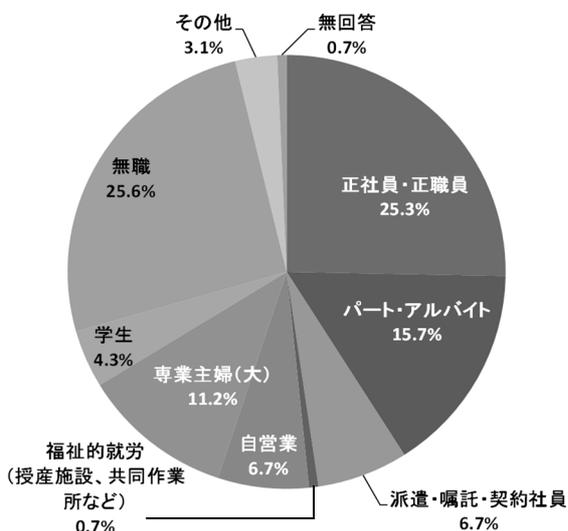


問4	選択肢	件数	割合
1	一人暮らし	50	8.6%
2	夫婦と子ども	131	22.5%
3	本人と子ども	30	5.2%
4	本人と親	72	12.4%
5	三世代家族(本人と親と子ども)	120	20.7%
6	夫婦のみ	94	16.2%
7	友人と同居	1	0.2%
8	その他	80	13.8%
	無回答	3	0.5%
	回答者合計	581	100.0%

(5) 就業状況

問5 あなたの現在のお勤めの状況をご回答ください。(○印は一つ)

○「正社員・正職員」が 25.3%、「パート・アルバイト」が 15.7%、「派遣・嘱託・契約社員」が 6.7%で、事業所に雇用されて働いている人が約半数を占める。

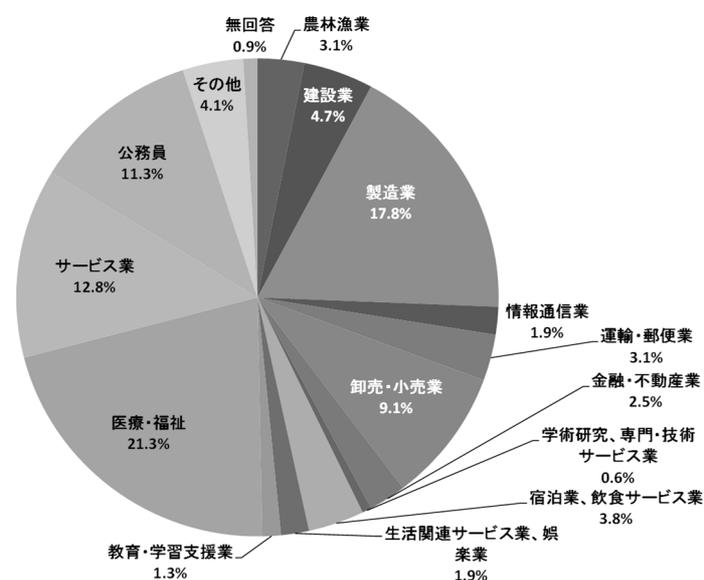


問5	選択肢	件数	割合
1	正社員・正職員	147	25.3%
2	パート・アルバイト	91	15.7%
3	派遣・嘱託・契約社員	39	6.7%
4	福祉的就労 (授産施設、共同作業所など)	4	0.7%
5	自営業	39	6.7%
6	専業主婦(大)	65	11.2%
7	学生	25	4.3%
8	無職	149	25.6%
9	その他	18	3.1%
	無回答	4	0.7%
	回答者合計	581	100.0%

(6) 職業

問6 問5で1～5を選択した方にうかがいます。
あなたのご職業をご回答ください。(○印は一つ)

○「医療・福祉」が最も多く 21.3%、次いで「製造業」の 17.8%、「サービス業」の 12.8%となっている。



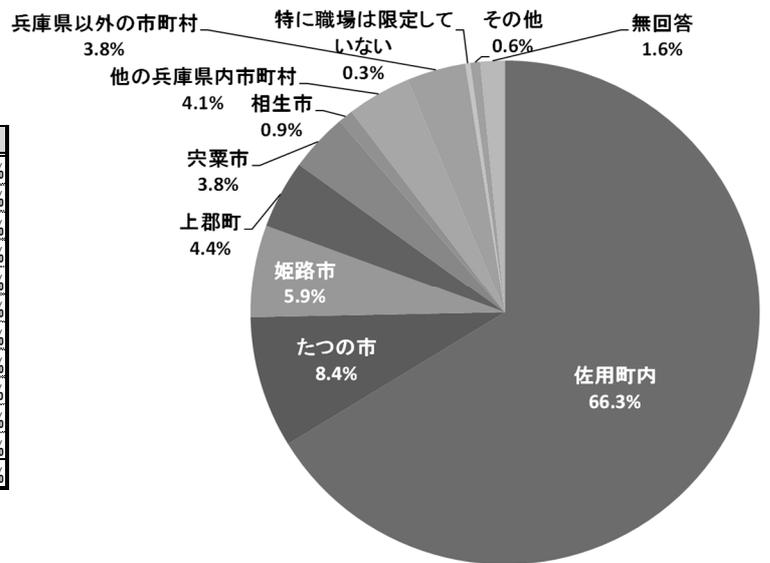
問6	選択肢	件数	割合
1	農林漁業	10	3.1%
2	建設業	15	4.7%
3	製造業	57	17.8%
4	情報通信業	6	1.9%
5	運輸・郵便業	10	3.1%
6	卸売・小売業	29	9.1%
7	金融・不動産業	8	2.5%
8	学術研究、専門・技術サービス業	2	0.6%
9	宿泊業、飲食サービス業	12	3.8%
10	生活関連サービス業、娯楽業	6	1.9%
11	教育・学習支援業	4	1.3%
12	医療・福祉	68	21.3%
13	サービス業	41	12.8%
14	公務員	36	11.3%
15	その他	13	4.1%
	無回答	3	0.9%
	回答者合計	320	100.0%

(7) 就業地

問7 問5で1～5を選択した方にうかがいます。
あなたの職場はどこですか。(○印は一つ)

- 「佐用町内」が最も多く 66.3%、次いで「たつの市」の 8.4%、「姫路市」の 5.9%となっている。
- 「他の兵庫県内市町村」で最も多かったのは「神戸市」で 4 人、また「兵庫県以外の市町村」で最も多かったのが「岡山県美作市」の 5 人であった。

問7	選択肢	件数	割合
1	佐用町内	212	66.3%
2	たつの市	27	8.4%
3	姫路市	19	5.9%
4	上郡町	14	4.4%
5	宍粟市	12	3.8%
6	相生市	3	0.9%
7	他の兵庫県内市町村	13	4.1%
8	兵庫県以外の市町村	12	3.8%
9	特に職場は限定していない	1	0.3%
10	その他	2	0.6%
	無回答	5	1.6%
	回答者合計	320	100.0%

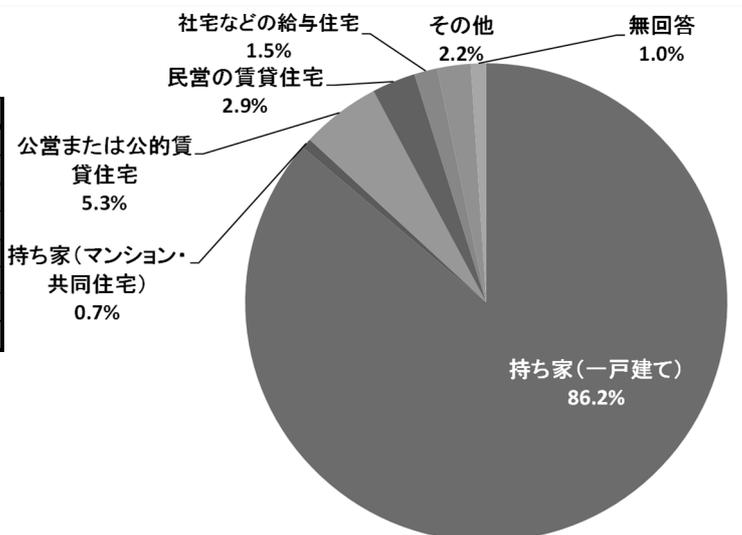


(8) 住宅の種類

問8 現在、居住している住宅の種類をご回答ください。(○印は一つ)

- 「持ち家（一戸建て）」が最も多く 86.2%、次いで「公営または公的賃貸住宅」の 5.3%となっている。

問8	選択肢	件数	割合
1	持ち家(一戸建て)	501	86.2%
2	持ち家(マンション・共同住宅)	4	0.7%
3	公営または公的賃貸住宅	31	5.3%
4	民営の賃貸住宅	17	2.9%
5	社宅などの給与住宅	9	1.5%
6	その他	13	2.2%
	無回答	6	1.0%
	回答者合計	581	100.0%



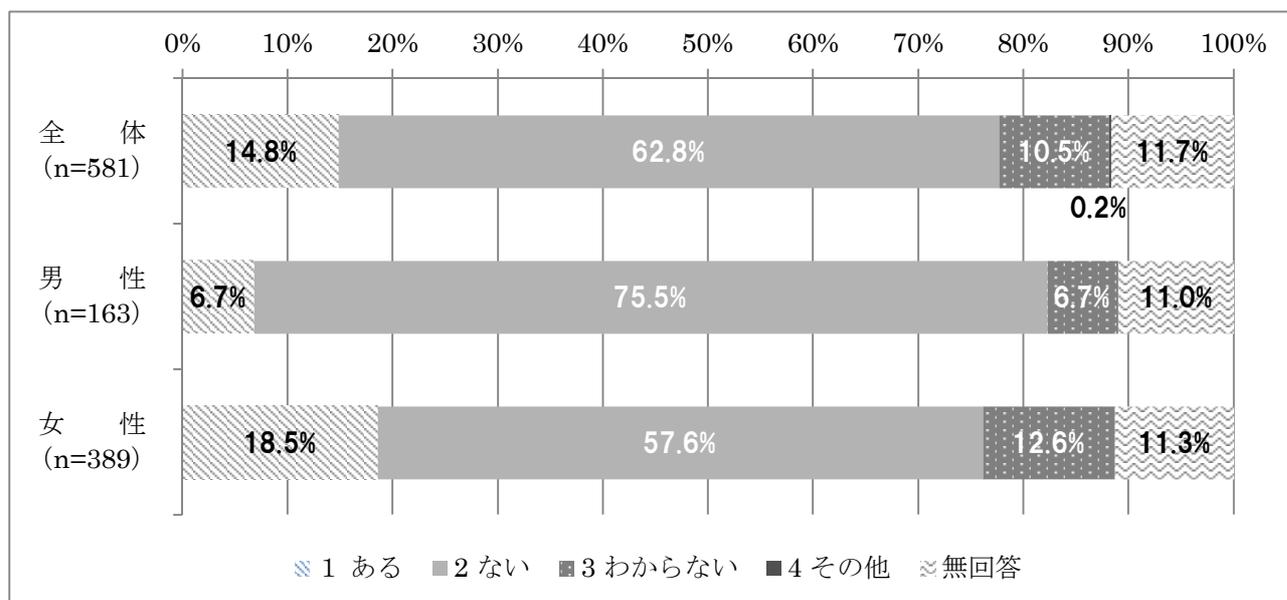
男女共同参画社会

(1) 性による不都合・不自由についての認識

問 56 あなたは自分の性（男性であること／女性であること）で、不都合なこと・不自由さを感じたことがありますか。（○印は一つ）

○回答者全体の約15%が、自分の性で、不都合・不自由さを感じたことが「ある」と回答。

○男女別にみると、女性の方が、不都合・不自由さを感じたことが「ある」と回答した人の割合が高く、男性の約2.8倍にあたる18.5%となっている。



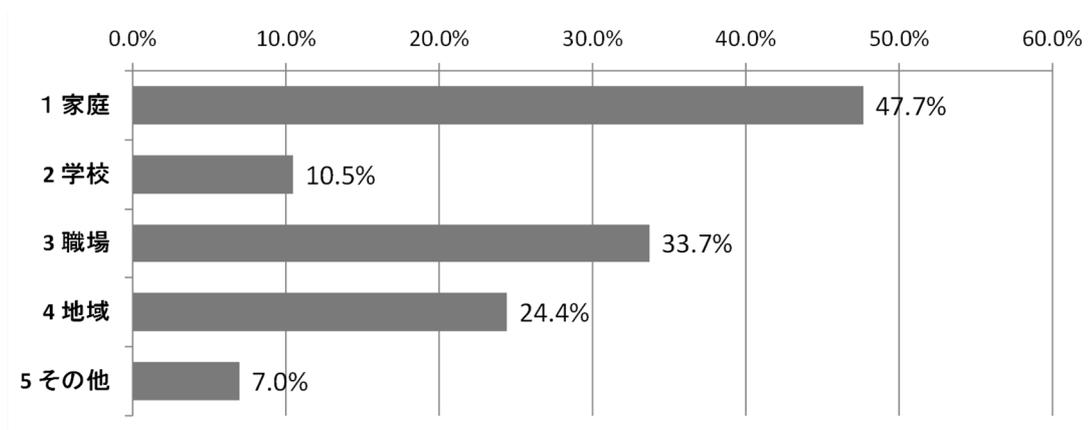
(2) 不都合・不自由さを感じた場面

問 57 問 56 で 1 を選択した方にうかがいます。

どんな場面で感じましたか。よろしければ () 内にどんな状況／気持ちだったかご記入ください。

○不都合・不自由さを感じる場面としては、「家庭」が最も多く 47.7%、次いで「職場」が 33.7%、「地域」が 24.4%となっている。

○各場面における不都合・不自由さの具体的内容については、家庭での家事・子育てが女性に集中している、家庭や職場・地域で女性がなかなか意見を言えない、職場において給与・仕事内容についての待遇が低いなどが挙げられている。



■不都合・不自由さを感じた場面と、その時の状況・気持ち（代表的意見）

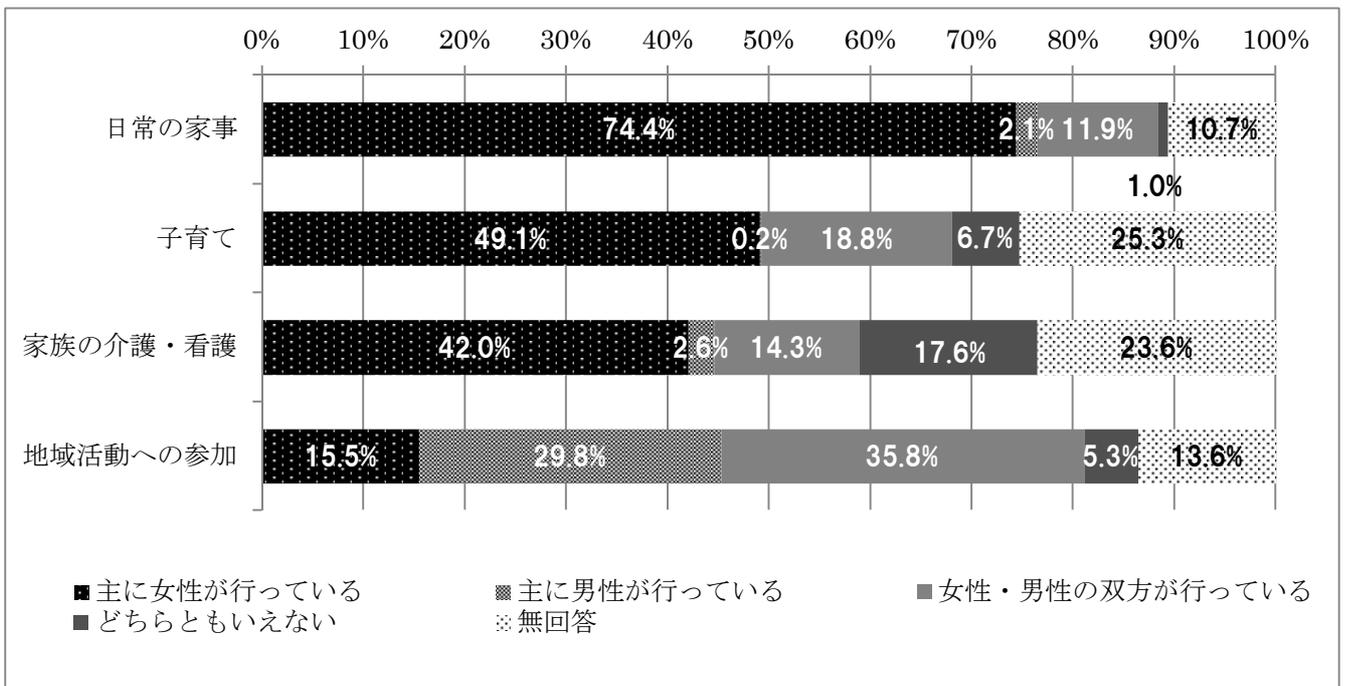
場面	状況・気持ち (() 内は同様の意見の数)
家 庭	<p>○子育て・家事・介護の集中 (19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、介護、家事など忙し過ぎて、ストレスと不公平感。【女性：50代】 ・介護の為、退職せざるをえなかった。定年まで働きたかった。【女性：60代】 ・女が働いているのに、家庭では家事や子育てをしなければならない。【女性：30代】 <p>など</p> <p>○意見が言えない・男尊女卑 (9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫁は発言できないという空気。【女性：60代】 ・田舎特有の“女性だから、女性なのに”という言葉をよく言われた。【女性：20代】 <p>など</p> <p>○その他 (4)</p>
学 校	<p>○意見が言えない・男尊女卑 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女なのだからというジェンダーのしびりがすごい。【女性：20代】 <p>など</p> <p>○その他 (6)</p>
職 場	<p>○待遇（給与や仕事の内容）(9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昇給や役職が男性に比べ少ない。【女性：60代】 ・責任のある仕事があまわってこない。【女性：20代】 ・正社員の候補にすらならない。【女性：40代】 <p>など</p> <p>○意見が言えない・男尊女卑 (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性は口出しすべきではない雰囲気がある。【女性：40代】 <p>など</p>

	○その他 (9) ・女性だからと許されることが多々あり、男性には差別に感じる。【男性：20代】など
地域	○意見が言えない・男尊女卑 (7) ・地域での会議で発言しにくい。【女性：60代】 ・意思決定の場に参加できない。女性自身も積極性がない。あきらめ。【女性：40代】など ○役割分担（雑作業の集中など）(3) ・お茶出しや片づけは女性だけがして男性は来るだけ。【女性：20代】 など ○その他 (9) ・レディースデーという割引日。男性には差別ととる人もいる。【男性：20代】 など
その他	○その他 (6)

(3) 家庭での役割分担

**問 58 あなたの家庭では、次の項目について、主にどなたが行っていますか。
各項目一つに○をつけてください。**

- 日常の家事については、「主に女性が行っている」が74.4%で、男性と大きな差がある現状が伺える。
- 子育てについても、日常の家事と同様に「主に女性が行っている」の割合が49.1%と高い。
- 家族の介護・看護についても女性の割合が高いが、「どちらともいえない」も17.6%を占めている。
- 地域活動への参加については、「女性・男性の双方が行っている」が35.8%と最も高く、次いで「主に男性が行っている」の29.8%となっている。



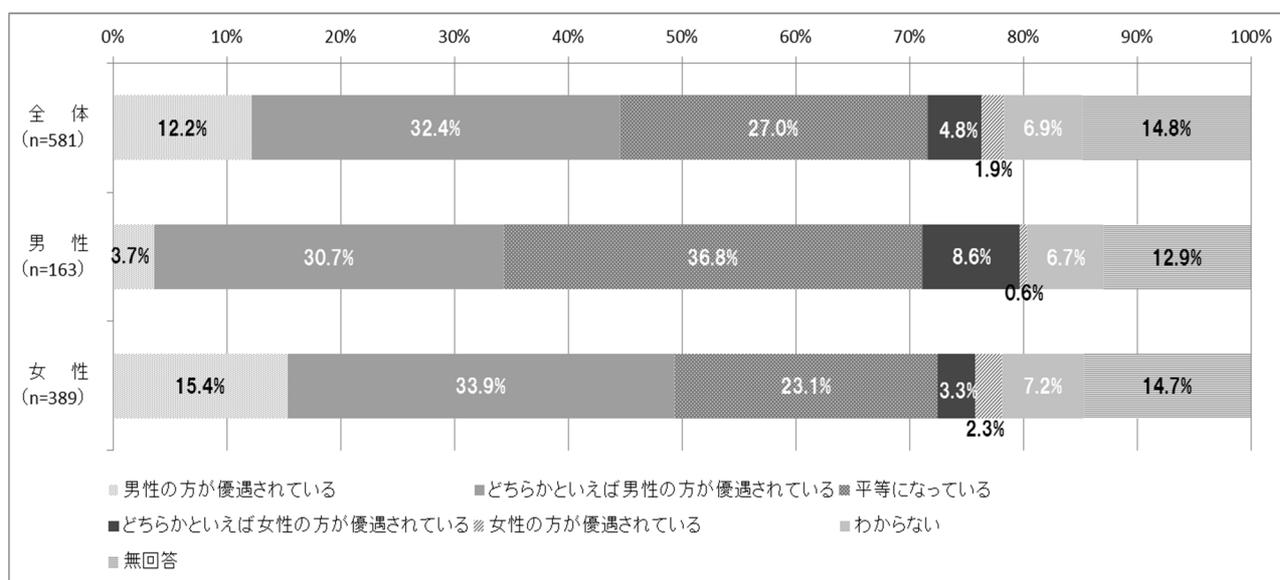
(4) 男女の地位についての認識

**問 59 あなたは、現在の社会において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
各項目一つに○をつけてください。**

《家庭生活の中では》

○家庭生活の中では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人をあわせると 44.6%となり、「平等である」の 27.0%を大きく上回っており、男性の方が優遇されているとの認識が強いことが伺える。

○男女別にみると、女性において「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が 15.4%と男性の 3.7%を大きく上回っており、女性の方が、男性の方が優遇されているとの認識が強いことが伺える。また、男性において、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答した人の割合が、女性にくらべ大きくなっている。



《学校教育の中では》

○「平等である」と回答した人が 53.5%と最も多く、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人の 8.1%を大きく上回っており、比較的、平等感が強いと考えられる。

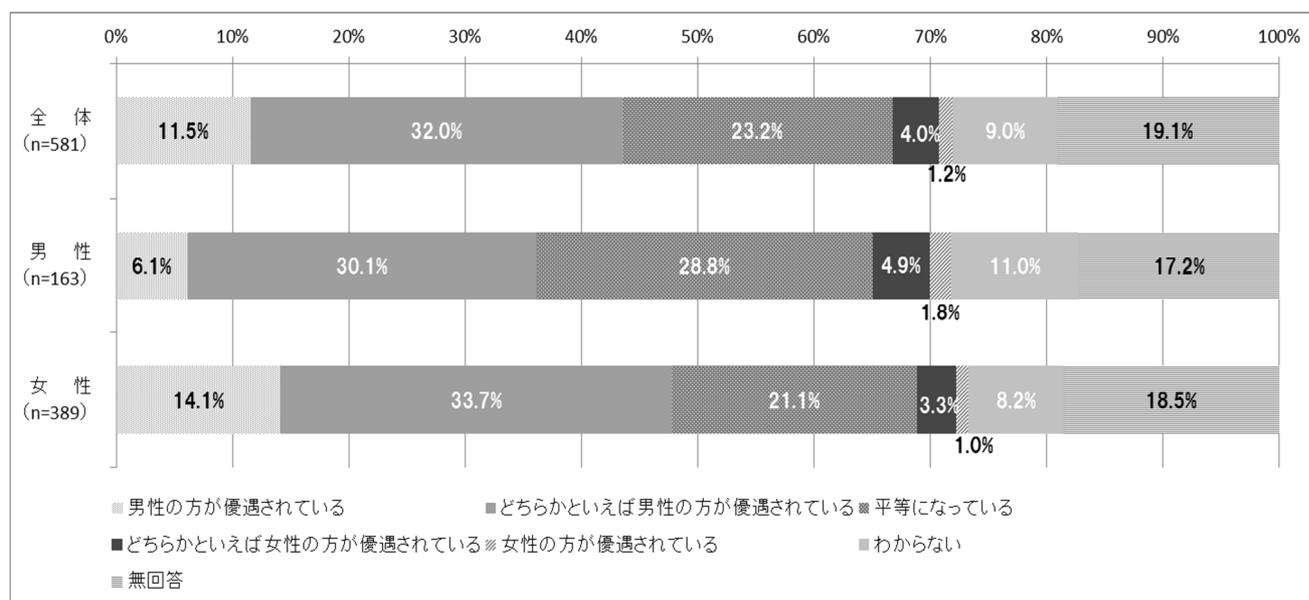
○男女別にみると、特に大きな違いは見られないが、男性において、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答した人の割合が、女性にくらべ大きくなっている。



《職場の中では》

○「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人をあわせると 43.5%となり、「平等である」の 23.2%を大きく上回っており、男性の方が優遇されているとの認識が強いことが伺える。

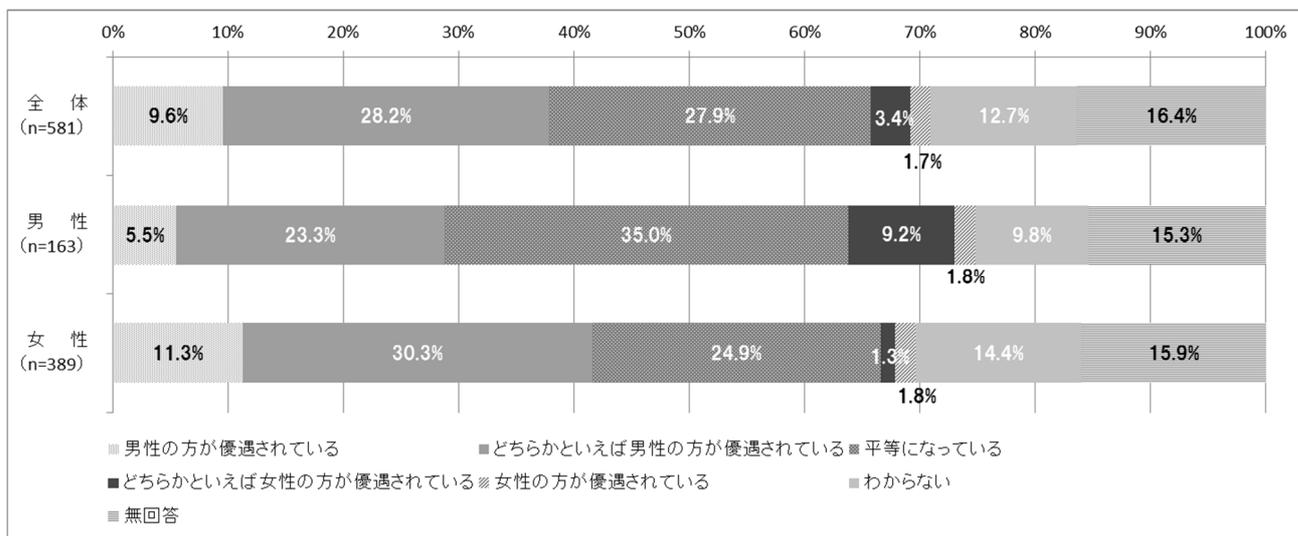
○男女別にみると、女性の方で、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が、男性に比べて高くなっている。



《地域活動の中では》

○「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人をあわせると 37.8%となり、「平等である」の 27.9%を上回っており、比較的、男性の方が優遇されているとの認識が強いことが伺える。

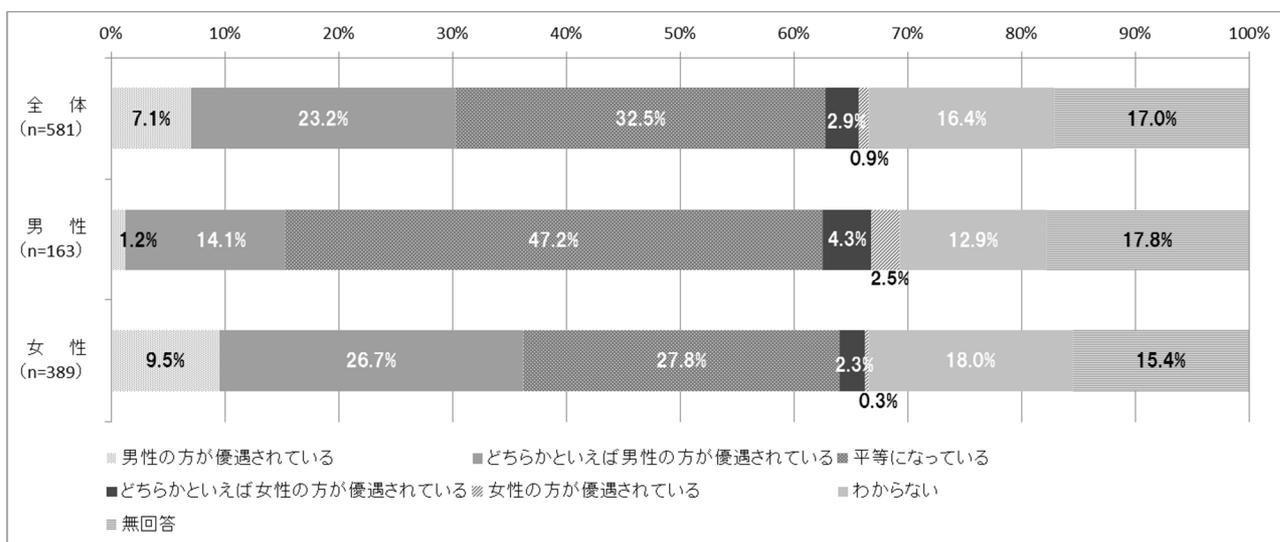
○男女別にみると、女性の方で、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人の割合が、男性に比べて高くなっている。



《法律や制度上では》

○「平等になっている」が 32.5%と最も多くなっているが、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人をあわせると 30.3%であり、どちらかといえば男性の方が優遇されているとの認識が強いことが伺える。

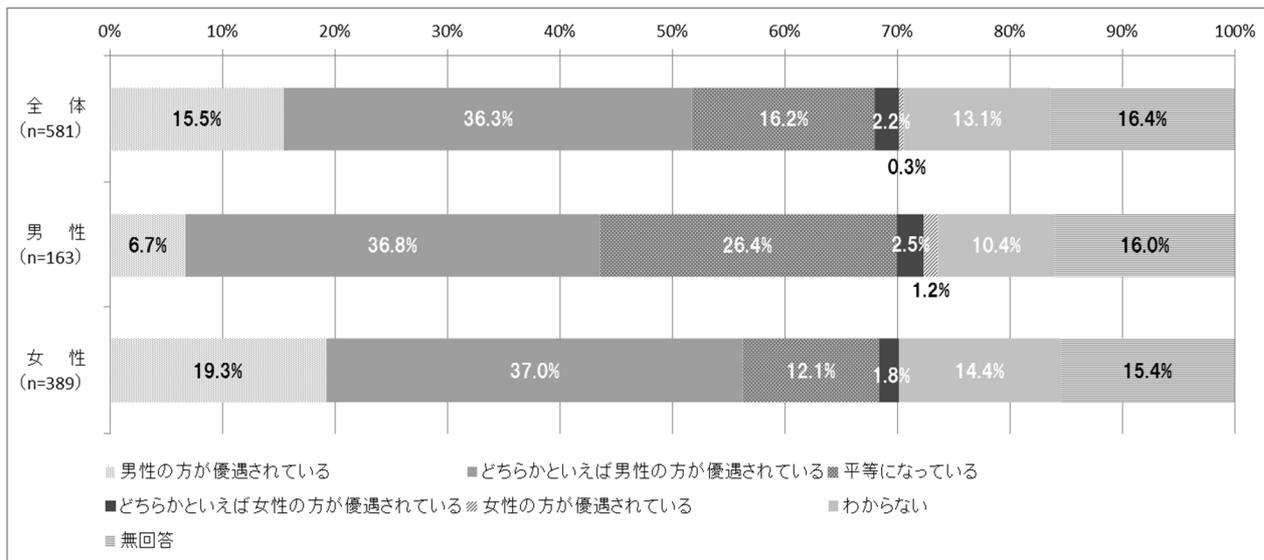
○男女別にみると、「平等になっている」と回答した人の割合が女性で 27.8%であるのに対し男性では 47.2%と大きく、また、女性の方で「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人があわせて 36.2%で、男性の 15.3%に比べて高くなっており、男性は平等になっていると考えているが、女性では必ずしも平等にはなっていないという認識があることが伺える。



《社会通念・慣習では》

○「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が 36.3%と最も多くなっており、「男性の方が優遇されている」をあわせると過半数の人が、男性の方が優遇されていると認識していることが伺える。

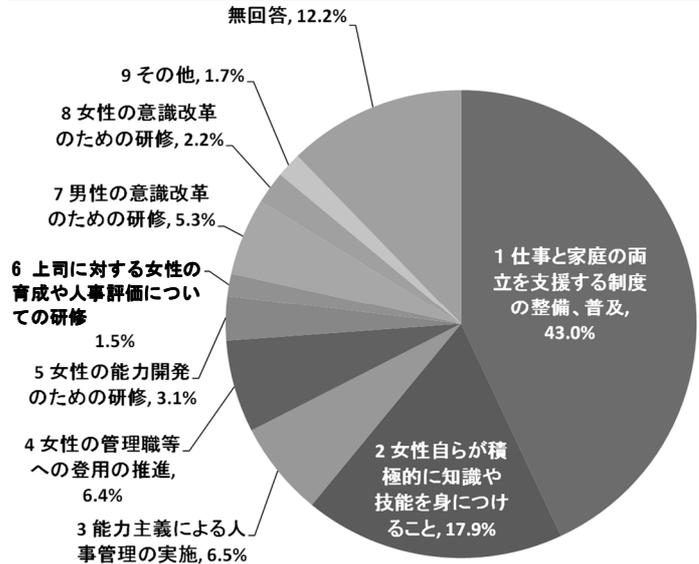
○男女別にみると、女性の方で、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人があわせると 56.3%となり、男性の 43.5%に比べて高くなっている。



(5) 職場での女性の能力発揮に必要なこと

問 60 あなたは、女性が職場で能力を発揮するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印は一つ)

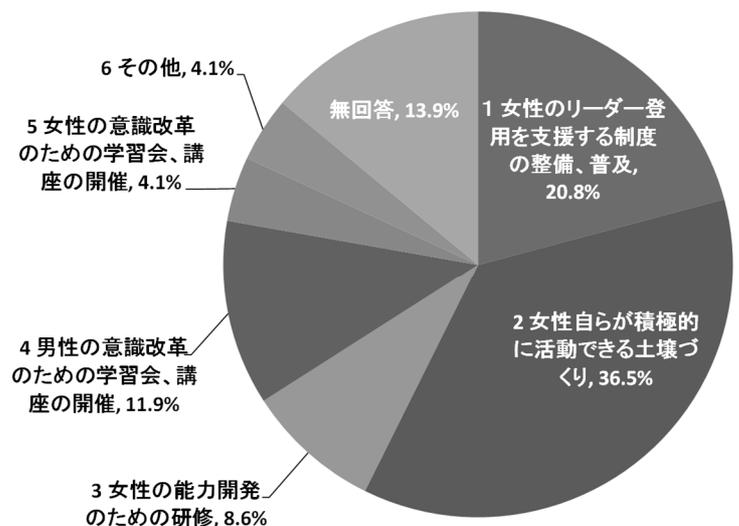
○職場において女性の能力を発揮するために必要なこととしては、「仕事と家庭の両立を支援する制度の整備、普及」が43.0%と最も多く、次いで「女性自らが積極的に知識や技能を身につけること」の17.9%となっている。



(6) 地域や団体における女性のリーダーシップ発揮に必要なこと

問 61 あなたは、女性が地域や団体などでリーダーシップを発揮する（自治会役員などを務める）ためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印は一つ)

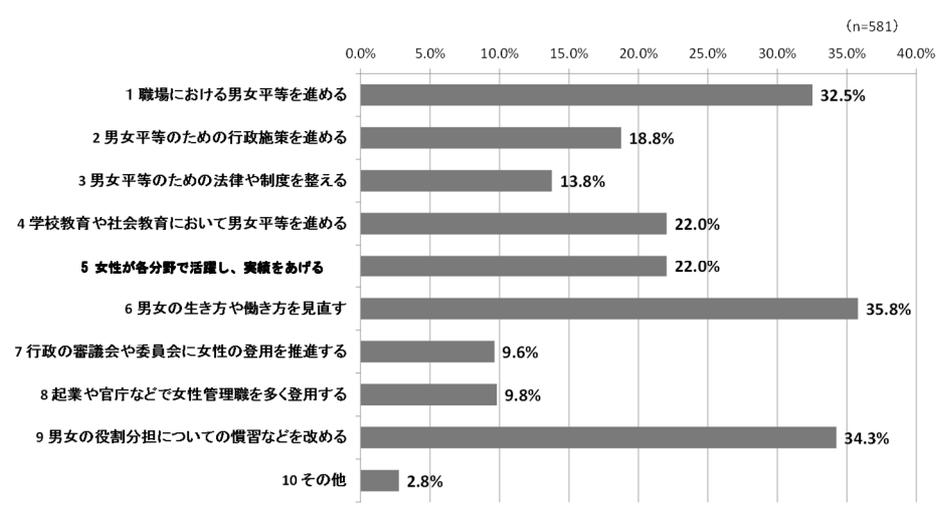
○地域や団体における女性のリーダーシップ発揮に必要なこととしては、「女性自らが積極的に活動できる土壌づくり」が36.5%で最も高く、次いで「女性のリーダー登用を支援する制度の整備、普及」が20.8%、「男性の意識改革のための学習会、講座の開催」の11.9%の順となっている。



(7) 男女共同参画社会の実現に必要なこと

問 62 あなたは、男女共同参画社会を実現するには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇印は三つまで)

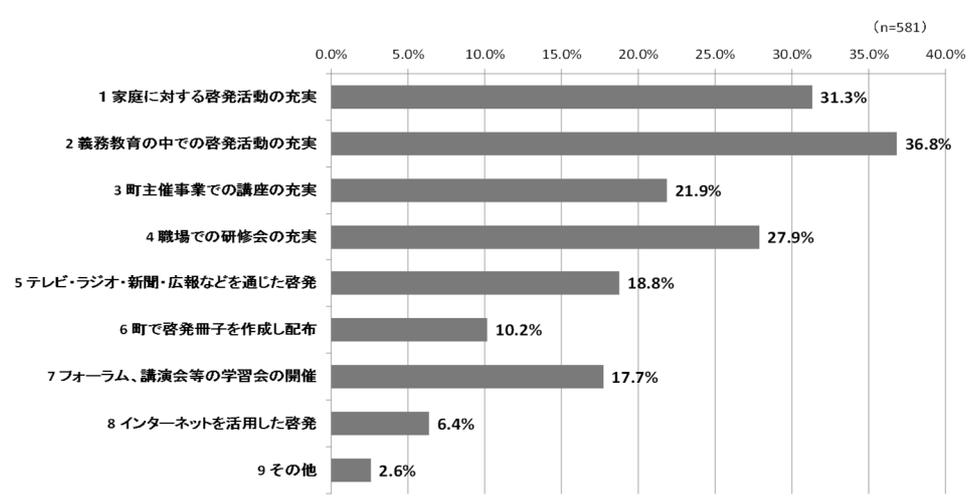
〇男女共同参画社会の実現のためには、「男女の生き方や働き方を見直す」が 35.8%で最も多く、次いで「男女の役割分担についての慣習などを改める」の 34.3%、「職場における男女平等を進める」の 32.5%の順であった。



(8) 町民の意識高揚策

問 63 あなたは男女共同参画に対する町民の意識を高めていくには、どうすればよいと思いますか。(〇印は三つまで)

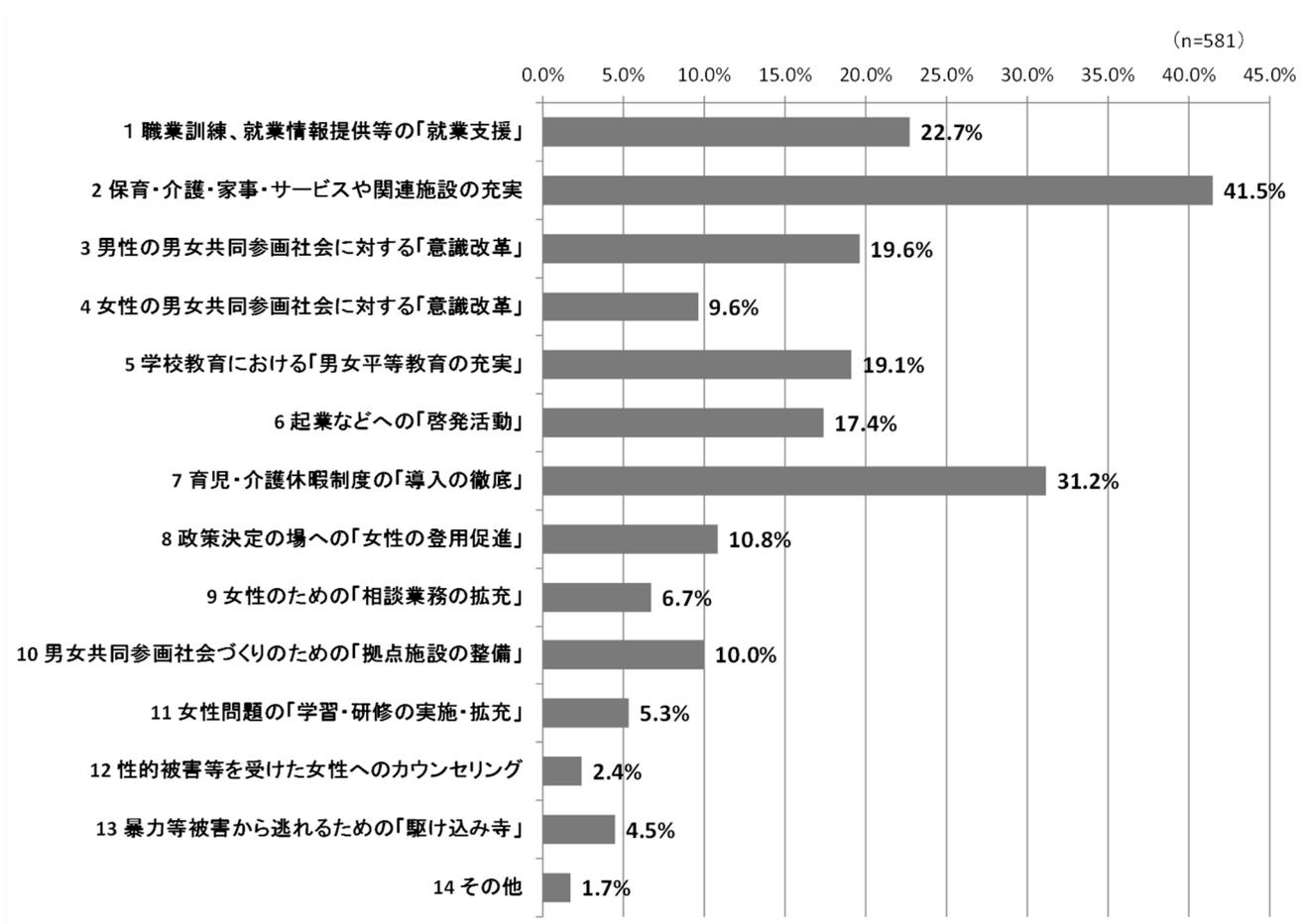
〇男女共同参画社会の推進に対する町民意識を高揚するためには、「義務教育の中での啓発活動の充実」が最も多く 36.8%、次いで「家庭に対する啓発活動の充実」の 31.3%、「職場での研修会の実施」の 27.9%、「町主催事業での講座の充実」の 21.9%の順になっている。



(9) 男女共同参画社会実現に必要な行政支援

問 64 あなたは男女共同参画社会の実現のために、どのような行政支援が必要だと思いますか。
(○印は三つまで)

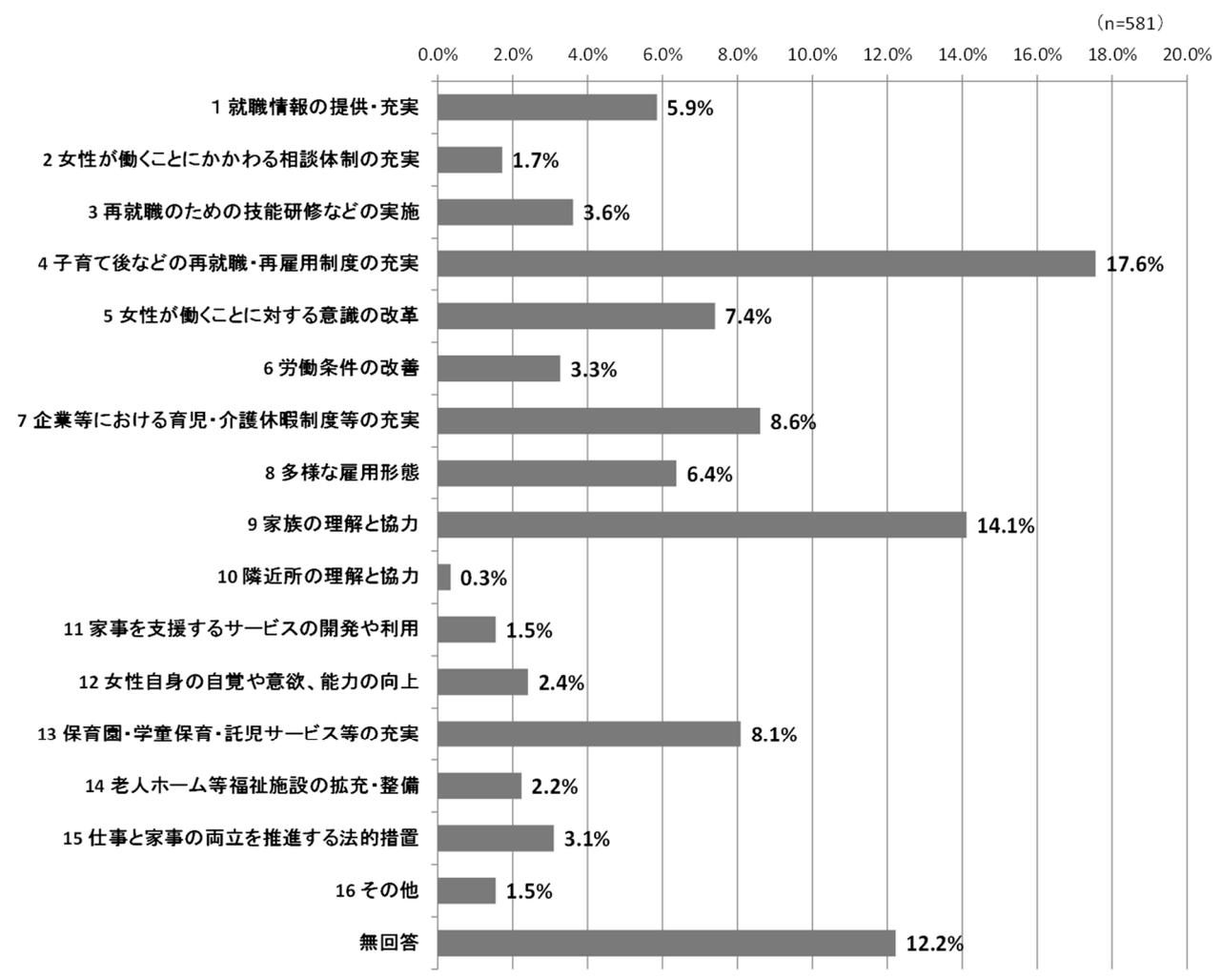
○男女共同参画社会の実現に必要な行政支援としては、「保育・介護・家事・サービスや関連施設の充実」が 41.5%で最も多く、次いで、「育児・介護休暇制度の「導入の徹底」」の 31.2%、「職業訓練、就業情報提供等の「就業支援」」の 22.7%の順となっている。



(10) 女性が仕事をし続けるために必要な支援・改善

問 65 女性が将来にわたり仕事を続けるために、どのような支援や改善が必要とお考えですか。
(○印は一つ)

○女性が将来にわたり仕事を続けるために必要な支援、改善点は、「子育て後などの再就職・再雇用制度の充実」が17.6%で最も多く、次いで、「家族の理解と協力」の14.1%、「企業等における育児・介護休暇制度等の充実」の8.6%、「保育園・学童保育・託児サービス等の充実」の8.1%の順となっている。



【資料 2】

計画策定の取り組み経過

日 程	会 議	内 容
平成28年 7月 8日 (金)	・まちづくり推進会議 生涯学習・スポーツ部会	○町民アンケートの報告と課題の報告 ○スケジュール確認 ○基調講演
8月15日 (月) ～ 8月31日 (水)	・生涯学習推進計画 ワーキングチーム会議	○計画素案の検討・確認 (書面協議)
9月 7日 (水)	・「男女共同参画のお話とワークショップ」 ・まちづくり推進会議 生涯学習・スポーツ部会	○男女共同参画を含む多様性に関する 講義とワークショップ
12月 1日 (木)	・まちづくり推進会議 生涯学習・スポーツ部会	○計画素案 (基本理念や基本目標) の 確認・協議 ○男女共同参画に関するグループ ワーク ○男女共同参画に関する講義
12月 8日 (木)	・生涯学習推進計画 ワーキングチーム会議	○計画素案の検討・協議
12月16日 (金) ～ 12月28日 (水)	・まちづくり推進会議 生涯学習・スポーツ部会	○計画素案の確定 (書面協議)
平成29年 1月13日 (金) ～ 1月30日 (月)	・パブリックコメントの実施	○素案を公表して広く意見を公募
3月	・3月定例議会	○計画議案の提出

佐用町男女共同参画推進計画

－みんなが輝く☆きらりプラン－

平成 29 年 3 月

佐用町教育委員会事務局生涯学習課

〒679-5301

兵庫県佐用郡佐用町佐用 2585

TEL : 0790-82-3336

FAX : 0790-82-0313

URL : <http://www.town.sayo.lg.jp>
